

## 「ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム指導者用ガイド 2015」について

- 本ガイドは、米国の ELNEC 本部の了承を得て、米国で開発された ELNEC-Core の日本語版である ELNEC-J コアカリキュラム指導者用ガイドに基づき、米国の ELNEC-Critical Care の教育カリキュラムを、日本のクリティカルケア領域の実情に合うように、翻訳・修正したものです。
- 本ガイドは、クリティカル看護領域における臨床経験を 5 年以上保持し、かつ教育経験を有する看護師が、ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラムを実施するための（エンド・オブ・ライフ・ケアについて看護師に教育するための）ツールです。
- ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラムの対象となる看護師は、日本看護協会が提示するクリニカルラダーのレベルⅡ（看護実践の場面において単独で看護を提供できる。チームリーダー的役割や責務を認識し遂行できる。自己の学習課題に向けた学習活動を展開できる）を想定しています。
- 各モジュールは、以下のように構成されています。
  - 1) モジュールの概要・キーメッセージ・目標
  - 2) 受講者用アウトライン（モジュールの骨格を示すもの）
  - 3) スライド一覧（講義用のスライド）
  - 4) 講師用アウトライン（各スライドで説明する内容を示したもの）
  - 5) ケーススタディ（該当モジュールについて理解を深めるために活用する症例および設問）
  - 6) 補助教材
  - 7) 文献リスト（該当モジュール内で引用・参照した文献のリスト）
- 各モジュールの内容は以下の通りです。
  - モジュール 1：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護
  - モジュール 2：疼痛管理
  - モジュール 3：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける症状マネジメント
  - モジュール 4：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題
  - モジュール 5：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化とスピリチュアルな側面への配慮
  - モジュール 6：コミュニケーション
  - モジュール 7：喪失・悲嘆・死別
  - モジュール 8：臨死期のケア
- ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム指導者は、上記の内容をもとに、実際の対象者に合わせ、自分で各モジュールの授業を組み立てます。掲載したスライドを、授業でそのまますべて使うことも、一部のみを使うことも可能です。また、自分で作成したスライドをその旨を明記して追加することも可能としています。
- 実際の授業の組み立て方（例えば、講義のみの場合、講義+ロールプレイの場合、講義+事例検討など）については、モジュール毎に例を提示し、ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム指導者養成プログラム内で説明する予定です。
- ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラム開催要件のひとつとして、全モジュ

ールの実施を挙げます。(つまり全モジュールを実施しないと「ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム教育プログラムを実施した」旨を、ELNEC-J 指導者は報告することができず、ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム看護師教育プログラムの修了証は発行できない。)

- 上記の ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム指導者用ガイドの使用方法につきましては、ガイド冒頭、ELNEC-J クリティカルケア指導者養成プログラムの中、指導者用ハンドブックにおいて、指導者に説明いたします。
- 本カリキュラムは、特定の疾患を念頭に置いておりません。
- 本ガイドにおける「エンド・オブ・ライフ・ケア」とは、「病いや老いなどにより、人が人生を終える時期に必要とされるケア」としてしています。